

NIHONKAI GENERAL HOSPITAL

— 臨床研修のご案内 —



日本海総合病院 令和6年度初期臨床研修・専門研修パンフレット

ご挨拶



病院長
橋爪 英二

当院は2008年4月に山形県立日本海病院と酒田市立病院が統合再編し、急性期医療の日本海総合病院と、回復期医療の日本海酒田リハビリテーション病院の2つの病院に、2018年4月より酒田市から移管統合された日本海八幡クリニック及び市内5診療所が加わり日々の診療を行っております。庄内地方で唯一の救命救急センターを有し、またPETセンター、ハイブリット手術室、低侵襲手術支援ロボットダヴィンチサージカルシステム等、高度先進医療にも取り組んでおります。実践主義のもと、多岐にわたる豊富な症例を経験することができます。意欲のある皆様をお待ちしております。



研修管理委員長
鈴木 義広

日本海総合病院は、人口25万人の山形県庄内地区の中核病院であり、断らない救急病院でもあるので、症例が豊富に集まり、臨床研修に適した病院です。

実践主義を掲げており、外科的手技、検査も多数経験可能です。研修スケジュールも自由度が高く、迷ったときはスケジュール変更も調整可能です。サポート体制、福利厚生も充実しており、研修医室やレジデントハウスも綺麗で、環境的にも申し分ありません。

また専攻研修に関しても、内科・外科・産婦人科・麻酔科にて基幹病院として各科あらゆる分野の研修が可能です。各専門医試験に向けてのバックアップ体制も整っております。自然や食の豊かな庄内で、是非楽しい研修生活を送ってください。

病院情報

病床数 590床（感染症4床を含む）

医師数 160名 令和5年4月時点（研修医含む）

手術件数 5,753件/年

入院患者数 483.6人/日

外来患者数 1282.9人/日

救急患者数 53.8人/日（内救急車で来院11.0人）

診療科

27診療科

内科、循環器内科、消化器内科、内視鏡内科、精神科、神経内科、小児科、外科、乳腺外科、小児外科、心臓血管外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、リハビリテーション科、皮膚科、産婦人科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、放射線科、歯科口腔外科、麻酔科、救急科、病理診断科、緩和ケア内科



※患者数、手術件数は令和4年度実績。

研修の特色



熱意のある指導と豊富な症例経験

県立市立の2病院の統合により指導医が多く在籍し、実践主義のもと、日々熱心に研修医を指導しています。救命救急センターには庄内地域のほか、近隣・近県地域からも救急患者が集まり、年間約20,000件の症例を経験することが可能です。

先進的な設備と地域連携の取組み

庄内二次医療圏の中核の医療機関として、PET/CTやハイブリッド手術システム、手術用ロボットダヴィンチ等の先進的な設備を整えています。また急性期医療や高度専門医療の提供を行うほかにも、在宅や介護施設への移行の円滑化を図り、地域完結型の医療の充実に努めています。



充実した研修環境

研修医の希望を反映した約50週の自由選択科研修で、研修中の診療科変更についても柔軟に対応しています。研修医室には専用机とインターネット環境を整備し、隣接する図書室には研修担当のスタッフと図書司書を配置しています。

施設認定

日本内科学会専門医制度研修プログラム(内科領域)基幹施設、日本呼吸器学会専門医制度呼吸器専門研修プログラム連携施設、日本呼吸器内視鏡学会専門医制度認定施設、日本腎臓学会研修施設、日本透析医学会専門医制度認定施設、日本リウマチ学会教育施設、日本消化器病学会専門医制度認定施設、日本消化器内視鏡学会指導施設、日本超音波医学会認定超音波専門医研修施設、日本循環器学会認定循環器専門医研修施設、経皮的僧帽弁接合不全修復システム実施施設、日本心血管インターベンション治療学会研修施設、日本精神神経学会専門医研修施設、日本神経学会専門医制度准教育施設、日本老年精神医学会専門医制度認定施設、日本小児科学会小児科専門医制度研修施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本消化器外科学会専門医修練施設、日本乳癌学会認定医・専門医制度認定施設、三学会構成心臓血管外科専門医認定機構基幹施設、関連10学会構成日本ステントグラフト実施基準管理委員会ステントグラフト実施施設(腹部)(胸部)、下肢静脈瘤血管内焼灼術実施・管理委員会血管内焼灼術実施施設(下肢静脈瘤)、下肢静脈瘤に対する血管内治療実施基準による実施施設、呼吸器外科専門医制度認定専門医研修施設、日本脳神経外科学会専門医研修プログラム連携施設、日本脳卒中学会研修教育施設、日本整形外科学会専門医研修施設、日本手外科学会認定研修施設、日本形成外科学会認定施設、日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会インプラント実施施設、日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会エキスパンダー実施施設、日本産科婦人科学会専門研修プログラム基幹・連携施設、日本同産期・新生児医学会専門医制度補完認定施設(新生児)(母体・胎児)、日本泌尿器科学会専門医教育施設、日本眼科学会専門医制度研修施設、耳鼻咽喉科専門研修プログラム連携関連施設、日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関、日本口腔外科学会専門医制度研修施設、日本有病者歯科医療学会認定医制度研修施設、日本麻酔科学会麻酔科認定病院、日本麻酔科学会専門研修プログラム基幹施設、日本心臓血管麻酔学会専門医認定基幹施設、日本集中治療医学会専門医研修施設、日本救急医学会専門研修プログラム連携施設、日本病理学会病理専門医研修認定施設、日本臨床栄養代謝学会NST稼働施設、日本臨床栄養代謝学会NST専門療法士実地修練認定教育施設、日本栄養療法推進協議会認定NST稼働施設、経カテーテルの心臓弁治療関連学会協議会 経カテーテルの大動脈弁置換術実施施設、日本不整脈心電学会認定不整脈専門医研修施設、日本脊椎脊髄病学会脊椎脊髄外科専門医基幹研修施設、浅大腿動脈ステントグラフト実施施設、山形県医師会母体保護法指定医師審査規則による設備指定医療機関、山形県医師会母体保護法指定医師研修機関、日本総合病院精神医学会一般病院連携精神医学専門医研修施設、日本総合病院精神医学会一般病院連携精神医学専門医特定研修施設、日本総合病院精神医学会電気けいれん療法研修施設、日本遺伝性乳癌卵巣癌総合診療制度機構認定協力施設、マンモグラフィ検診施設画像認定施設、日本心臓リハビリテーション学会心臓リハビリテーション研修施設、日本臨床細胞学会施設、日本血液学会認定専門研修教育施設、日本食道学会食道外科専門医準認定施設、日本糖尿病学会認定教育施設Ⅰ、IMPELLA補助循環用ポンプカテーテル実施施設、認定心エコー専門医制度研修施設

初期臨床研修プログラム

【医科】

プログラム定員

●臨床研修プログラム 12名 ●地域医療重点プログラム 1名
 ～2つのプログラムの違いについて～
 地域医療研修（必修）の期間が異なります。臨床研修プログラムは4週、地域医療重点プログラムは12週となります。

研修期間

2年間

給与

1年次 461,100円（基本月額346,600円+研修医手当114,500円）
 2年次 476,600円（基本月額357,800円+研修医手当118,800円）

諸手当

通勤手当、時間外勤務手当、退職手当等

休暇

年次有給休暇（20日）、年末年始（12/29～1/3）、夏季休暇（5日）、
 婚姻休暇（7日）等

加入保険

社会保険、雇用保険、医師賠償責任保険（病院加入。個人は任意）

研修協力病院 および施設

山形県立こころの医療センター、日本海酒田リハビリテーション病院、日本海八幡クリニック、那覇市立病院、山形県赤十字血液センター、庄内保健所、本間病院、さかい往診クリニック、おおたきこどもクリニック、岡田内科循環器科クリニック、酒井醫院、ほんまクリニック

医師臨床研修 マッチング

参加

【研修スケジュール(例)】

▶1年次

オリエンテーション (2週)	内科(呼吸器・代謝・腎臓・血液・循環器・消化器・神経) (24週)	救急 (8週)	外科 (4週)	小児科 (4週)	産婦人科 (4週)	精神科 (4週)	選択科 (2週)
-------------------	--------------------------------------	------------	------------	-------------	--------------	-------------	-------------

- ・内科24週、救急8週、外科4週、小児科4週、産婦人科4週、精神科4週、他に選択科の研修を行うことができる。
- ・7月から月3回の救急当番研修を行う。

▶2年次

選択科 (4週)	地域医療 (4週)	選択科 (44週)
-------------	--------------	--------------

- ・地域医療4週、月3回程度の救急当番研修を行う。（地域医療重点プログラムにおいては地域医療12週）
- ・1年次に到達目標未到達がある場合は、到達のための診療科研修を行う。
- 地域医療（必修） 日本海酒田リハビリテーション病院、日本海八幡クリニック、医療法人健友会本間病院、さかい往診クリニック等から選択 または組み合わせ
- 精神科（必修） 当院精神科、山形県立こころの医療センター から選択または組み合わせ
- 保健・医療行政（選択） 山形県庄内保健所、山形県赤十字血液センター から選択
- 選択科研修において那覇市立病院での研修が可能

歯科研修プログラム

【 歯 科 】

プログラム定員	2名
研 修 期 間	1年間
給 与	379,200円（基本月額 264,700円+研修医手当 114,500円）
諸 手 当	通勤手当、時間外勤務手当、退職手当等
休 暇	年次有給休暇（20日）、年末年始（12/29～1/3）、夏季休暇（5日）、婚姻休暇（7日）等
加 入 保 険	社会保険、雇用保険、医師賠償責任保険（病院加入。個人は任意）
歯科医師臨床研修 マ ッ チ ン グ	参加

福利厚生

- 専用机、専用キャビネット、iPhone 貸与
- 学会や資格取得時の費用負担（当院規定に基づく）
- 書籍や研修用物品購入時の研修費補助（上限あり）
- レジデントハウス（自己負担 11,000円/月）



研修医からのメッセージ

あいそ ひろと
相蘇 裕人 【東北医科薬科大学卒】

実践主義の理念のもと、研修医にも数多くの手技が任せられます。最前線で手を動かしたい方におすすめです。

あおき しょうた
青木 正太 【自治医科大学卒】

先生方やスタッフの皆さんがとても優しく、困ったことがあればすぐ相談できる素晴らしい環境です。

研修のサポートも手厚いと思います。ぜひ一度見学にいらして下さい。



相蘇 裕人

青木 正太



半田 光基

遊佐 忠直

はんだ みつき
半田 光基 【山形大学卒】

この病院では働く時はしっかり忙しく、休む時はしっかり時間を確保できるメリハリのある研修を行うことが出来ると思います。

病院の雰囲気は明るく、酒田は食事も美味しいので特に不満点が見付からないです。

ゆさ ただなお
遊佐 忠直 【山形大学卒】

実践主義の名の通り、主体的に研修を行うことができ、キャリアアップに最適です。

ぜひ一緒に美味しいお酒を飲みましょう。

いがらし なぎ
五十嵐 凪 【岩手医科大学卒】

研修プログラムの自由度が高く、とても恵まれた環境で研修が行えると思います。

酒田は食べ物もお酒もとてもおいしいので、ぜひ見学にいらして下さい。

きしたに はるき
岸谷 春輝 【山形大学卒】

仕事もプライベートも充実した、メリハリのある研修ができます。

一度見学に来て当院の雰囲気を感じてみて下さい。

しょうじ はると
庄司 陽登 【弘前大学卒】

自由に診療科を選択できる期間が長いいため、進路が決まっている人も決まっていない人も充実した研修ができます。

ぜひ見学に来て、当院の温かな雰囲気を感じてください。



岸谷 春輝

五十嵐 凪

庄司 陽登



佐竹 彩人

井出 健介

あびこ たくと
安孫子 拓人 【獨協医科大学卒】

手厚いご指導のもと、豊富な手技、症例を経験でき、充実した研修生活を送れます。
院内の雰囲気もとても良いと思います！

いがらし あやか
五十嵐 彩華 【東北大学卒】

豊富な症例と自由度の高いプログラムのもと、自分のペースで研修することができます！
どんな方でも満足のいく研修生活を送れることと思います。ぜひ一度見学に来てみてください！

もとい みちこ
本井 美智子 【山形大学卒】

上級医の先輩方もとても優しく、熱心に指導していただけます。
手技の機会も多くいただけるので、向上心のある人は大きく飛躍できる環境です。
ぜひ見学にきて日本海の楽しさに触れてください。



またけ あやと
佐竹 彩人 【山形大学卒】

第一志望の病院と比較してみたい、庄内ってどんなところか行ってみたい、酒田の美味しいものを食べてみたい…。どんな理由でも大歓迎です。日本海ってどんなところかな、気になった方、一度覗きに来てみてください。みなさんの好奇心に会えるのを、日本海一同心待ちにしています。

いで けんすけ
井出 健介 【東北医科薬科大学卒】

上級医・研修医が県内で見ても多く、分からないことを聞きやすい環境だと思えます。
内科・外科などの専門プログラムもあるので3年目以降、大学以外の進路も迷っている方はおすすめです。



安孫子 拓人

五十嵐 彩華

本井 美智子

専門研修プログラム

● 基幹施設として専攻医を募集するプログラム

プログラム名	募集定員	連携施設・特別連携施設
日本海総合病院 内科専門研修 プログラム	10人	山形大学医学部附属病院、東北大学病院、秋田大学医学部附属病院、福島県立医科大学附属病院、東京大学医学部附属病院、大阪医科薬科大学病院、国立国際医療研究センター病院、仙台厚生病院、けいゆう病院、榊原記念病院、北摂総合病院、山形県立中央病院、山形市立病院済生館、山形県立新庄病院、公立置賜総合病院、鶴岡市立荘内病院、健友会本間病院、酒井醫院、ほんまクリニック、鶴岡協立病院、日本海酒田リハビリテーション病院、日本海八幡クリニック、朝日町立病院、西川町立病院、最上町立最上病院、町立真室川病院、白鷹町立病院、小国町立病院、町立金山診療所、大蔵村診療所、岡田内科循環器科クリニック
日本海総合病院 外科専門研修 プログラム	2人	山形大学医学部附属病院、東北大学病院、山形県立中央病院
日本海総合病院 産婦人科専門研修 プログラム	4人	山形大学医学部附属病院、山形県立中央病院、社会福祉法人恩賜財団済生会、山形済生病院、公立置賜総合病院、米沢市立病院、山形県立新庄病院
日本海総合病院 麻酔科研修 プログラム	3人	山形大学医学部附属病院、東北大学病院、鶴岡市立荘内病院

● 連携施設として参加するプログラム

プログラム名	連携施設・特別連携施設
内 科	山形大学医学部附属病院、東北大学病院、秋田大学医学部附属病院、福島県立医科大学附属病院、金沢医科大学病院、大阪医科薬科大学病院、国立国際医療研究センター病院、仙台厚生病院、けいゆう病院、北摂総合病院、山形県立中央病院、山形市立病院済生館
小 児 科	山形大学医学部附属病院
精 神 科	山形大学医学部附属病院、山形県立こころの医療センター
外 科	山形大学医学部附属病院、東北大学病院、山形県立中央病院
乳 腺 外 科	山形大学医学部附属病院、東北大学病院
整 形 外 科	山形大学医学部附属病院、済生会山形済生病院
産 婦 人 科	山形大学医学部附属病院、東北医科薬科大学病院
耳 鼻 咽 喉 科	山形大学医学部附属病院
泌 尿 器 科	山形大学医学部附属病院
脳 神 経 外 科	山形大学医学部附属病院
放 射 線 科	山形大学医学部附属病院
麻 酔 科	山形大学医学部附属病院、東北大学病院
病 理	山形大学医学部附属病院、東北大学病院、秋田大学医学部附属病院
救 急 科	山形大学医学部附属病院、山形県立中央病院
形 成 外 科	山形大学医学部附属病院
総 合 診 療 科	鶴岡協立病院

内科専門研修プログラム

●プログラムの特色

当院は山形県庄内医療圏の中心的な急性期病院であるとともに、地域の病診・病連携の中核であります。一方で、地域に根ざす第一線の病院でもあり、コモンディーズの経験はもちろん、超高齢社会を反映し複数の病態を持った患者の診療経験もでき、高次病院や地域病院との病連携や診療所・クリニック（在宅訪問診療施設などを含む）との病診連携も経験できます。

●専門研修プログラム例

例1) Subspecialty 呼吸器内科選択。1年目不足の診療科をローテート。2年目出身大学病院での研修を希望。

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	神経内科		内分泌・代謝内科		呼吸器内科							
2年目	出身大学病院(連携施設)の呼吸器内科											
3年目	呼吸器内科											

例2) Subspecialty 循環器内科選択。Subspecialty 科より研修開始、その後、不足の診療科をローテート。

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	循環器内科		腎臓内科		血液内科	神経内科		循環器内科				
2年目	循環器内科											
3年目	庄内地方の市中病院(連携施設)の循環器内科											

例3) Subspecialty 消化器内科選択。症例取得のため、全内科ローテート。3年目県内病院での研修を希望。

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	消化器内科		神経内科		循環器内科		呼吸器内科		腎臓内科			
2年目	血液内科	内分泌・代謝内科		消化器内科								
3年目	県内市中病院(連携施設)の消化器内科											

基幹施設である日本海総合病院内科系診療科で1年以上の専門研修を行うことを基本とします。採用時に専攻医の希望・将来像を聞き取りした上で、専門研修の研修施設を調整し決定します。連携施設、特別連携施設での研修は、1施設につき最低3ヶ月間とし、通算1年以上2年未満とします。なお、希望および研修達成度によってはSubspecialty 研修を重点的にすることも可能です。

外科専門研修プログラム

●プログラムの特色(日本海総合病院外科専門研修プログラムの目的と使命)

- 1) 専攻医が医師として必要な基本的診療能力を習得すること
- 2) 専攻医が外科領域の専門的診療能力を習得すること
- 3) 上記に関する知識・技能・態度と高い倫理性を備えることにより、患者に信頼され、標準的な医療を提供でき、プロフェッショナルとしての誇りを持ち、患者への責任を果たせる外科専門医となること
- 4) 外科専門医の育成を通して国民の健康・福祉に貢献すること
- 5) 外科領域全般からサブスペシャリティ領域（消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科）またはそれに準じた外科関連領域（乳腺や内分泌領域）の専門研修を行い、それぞれの領域の専門医取得へと連動すること

●専門研修プログラム例

コース	1年次	2年次	3年次
Aコース	基幹施設		連携施設A
Bコース	基幹施設		連携施設B 連携施設C
Cコース	基幹施設	連携施設D	
		連携施設E	連携施設F

外科専門医研修

サブスペシャリティ領域研修

いずれのコースも基幹施設で専門研修を開始します。Aコースは3年目の半年を連携施設で研修します。Bコースは最初の2年間を基幹施設で研修し、3年目に連携施設で研修します。Cコースは2年目に連携施設を1年、あるいは半年ずつ2カ所まで研修します。

2年間で経験症例が達成（もしくは見込み）できていれば、3年目にはサブスペシャリティ領域（消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科）あるいは外科関連領域（乳腺など）の専門研修を開始します。

産婦人科専門研修プログラム

●プログラムの特色

基幹施設である当院においては、豊富な症例を経験し、産婦人科全般の標準的、基礎的な技量を習得できます。また、地域医療を担う連携施設では地域の実情に合わせた実践的な医療を、より先進的な医療を担う連携施設ではより専門的な技量を習得できます。

●専門研修プログラム例

コース	専攻医 1 年目	専攻医 2 年目		専攻医 3 年目	専攻医 4 年目以降
Aコース	基幹	連携	基幹	連携	腫瘍・周産期・生殖・女性医学・内視鏡・臨床遺伝などの専門医取得 研究（大学院進学） (山形大学医学部産婦人科と連携)
Bコース	基幹	連携	連携	基幹	
Cコース	基幹	連携	地域	基幹	

↑
産婦人科専門医試験

基幹施設である日本海総合病院産婦人科で6ヶ月以上、24ヶ月以内の研修を行います。(1つの連携施設での研修も通算24か月以内) 当プログラムに属する連携施設は、山形大学附属病院をはじめ、いずれも豊富な症例数および指導医による研修体制を有する病院で、婦人科手術件数の多い施設や分娩数の多い施設など、それぞれ特徴があります。結婚・妊娠・出産など、専攻医一人一人の事情にも対応してローテーションを決めていきます。

麻酔科専門研修プログラム

●プログラムの特色

本研修プログラムでは、専門研修基幹施設である山形県庄内医療圏の中心的な急性病院の日本海総合病院、山形県内にある専門研修連携施設である山形大学医学部附属病院、鶴岡市立荘内病院、宮城県内にある専門研修施設の東北大学病院が地域においてどのような役割を果たしているかを体験することができます。日本心臓血管麻酔学会専門医認定基幹施設であり庄内地域で唯一の三次救急医療機関での研修が特徴です。これらの中で専攻医に整備指針に定められた麻酔科研修カリキュラムの到達目標を達成できる教育を提供し、幅広く十分な知識と技術を備えた麻酔科専門医の育成を目指します。

●専門研修プログラム例

コース	1 年目	2 年目	3 年目	4 年目	
				4 月～9 月	10 月～3 月
Aコース	日本海総合病院	日本海総合病院	山形大学医学部附属病院 (ペイン、集中治療)	山形大学 医学部附属病院	鶴岡市立 荘内病院
Bコース	日本海総合病院	日本海総合病院	山形大学医学部附属病院 (ペイン、集中治療)	鶴岡市立 荘内病院	東北大学病院
Cコース	日本海総合病院	日本海総合病院	東北大学病院 (ペイン、集中治療)	鶴岡市立 荘内病院	山形大学 医学部附属病院
Dコース	日本海総合病院	日本海総合病院	東北大学病院 (ペイン、集中治療)	東北大学病院	鶴岡市立 荘内病院

- 研修の前半2年間は、専門研修基幹施設で研修を行います。
- 3年目に山形大学医学部附属病院または東北大学病院において1年間の研修を行い、ペインクリニックや集中治療を含む様々な症例を経験します。
- 地域医療の維持のため、4年目の6ヶ月は地域医療支援病院である鶴岡市立荘内病院で研修を行います。4年目の残り半年間は専攻医のニーズに応じてローテーション可能です。
- 研修内容・進行状況に配慮して、プログラムに所属する全ての専攻医が経験目標に必要な特殊麻酔症例数を達成できるようローテーションを構築します。

処遇・福利厚生

身 分	地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 日本海総合病院 正職員
給 与	<p>卒後3年目 基本月額 360,800円+医務手当等 425,000円【合計 785,800円】</p> <p>卒後4年目 基本月額 368,700円+医務手当等 425,000円【合計 793,700円】</p> <p>卒後5年目 基本月額 391,800円+医務手当等 445,000円【合計 836,800円】</p> <p>卒後6年目 基本月額 399,300円+医務手当等 445,000円【合計 844,300円】</p> <p>各種手当：扶養手当、住居手当、通勤手当、単身赴任手当、特殊勤務手当、 時間外勤務手当、休日勤務手当、宿日直手当</p> <p>そ の 他：期末手当・勤勉手当（年2回）、業績手当、昇給年1回、退職金制度あり</p>
保 険	山形県市町村職員共済組合、地方公務員災害補償基金、雇用保険、勤務医賠償責任保険
福 利 厚 生	病院敷地内に院内保育所あり（年末年始を除き通年、24時間体制）、定期健康診断（年1回）、インフルエンザワクチンの接種（希望者のみ）そのほか、職務上必要な検診や予防接種など
そ の 他	<p>赴任費用（引越費用：上限有）支給</p> <p>個人用机とキャビネットを医局内に配置</p> <p>世帯用宿舍あり 単身者の方には、住宅補助制度あり</p>

プログラム修了者より

私は2016年に山形大学医学部を卒業、同年4月より日本海総合病院で初期研修を開始、また2018年からは内科専攻研修病院として日本海総合病院で勤務させていただきました。

日本海総合病院は庄内地方の中核医療を担っており、軽症から重症にわたるcommon diseaseを数多くみれることが特徴です。内科専門医を取得するにあたっては、15分野70疾患群のなかで160以上の症例が必要であり、多岐に渡って経験しなければなりません。日本海総合病院で研修すれば症例に困ることはなく、さらにそれら多くの症例を主治医として経験できる部分は地域医療の中核病院ならではの思いです。

また、J-OSLERの進捗状況の確認など事務と上級医からのサポートも手厚いので、不安を感じることなく日々の業務にあたることができます。これから内科専攻医として日本海総合病院に来ていただければ、充実した内科専門研修を送れることを保証いたします。

ご飯もお酒も美味しく、自然豊かな庄内へ、是非いらしてください。



神経内科 鈴木 大介
(2018年 専門研修開始)



呼吸器外科 甲州 健太
(2022年 専門研修開始)

専攻医の声

当院の外科専門医研修では、実践主義の特色通り様々な症例を通して多くの手術や手技の経験を積むことが可能です。外科医を志すにあたり周術期管理や手術について教科書での勉強は欠かすことができないものではありますが、実際の手術経験なくしてスキルアップは望めません。研修早期から上級医の手厚い指導体制のもと豊富な手術機会を得ることができます。また、手技の習得のみならず外来業務や学会発表、資格取得を含め医師として成長するために様々な観点から訓練を積むことができる病院となっております。

初期研修終了時点で入局を決めかねている状態であっても外科研修をスタートすることができるのも利点の一つと言えるかもしれません。

ぜひ一度見学にいらしてください。

研修情報

〈リンク掲載〉

- ・臨床研修医募集サイト
<https://www.nihonkai-hos.jp/gakusei/>
- ・臨床研修Instagram
https://www.instagram.com/nihonkaihos_kensyu/
- ・リクルート動画
<https://www.nihonkai-hos.jp/hospital/medical-students/recruit-movie.html>
- ・見学申込フォーム
<https://www.nihonkai-hos.jp/hospital/medical-students/kengaku/kengaku-gakusei.html>



病院アクセス



地方独立行政法人 山形県・酒田市病院機構

日本海総合病院

〒998-8501 山形県酒田市あきほ町30番地 TEL 0234-26-2001 FAX 0234-26-5114
<https://www.nihonkai-hos.jp/hospital/> ✉ kensyu@nihonkai-hos.jp